

2023年3月31日

各位

三井住友信託銀行株式会社

サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について
(株式会社オリエントコーポレーション)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、株式会社オリエントコーポレーション(代表取締役社長:飯盛 徹夫、以下「オリコ」)との間で、ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)(※1)等が定めた「サステナビリティ・リンク・ローン原則」および環境省が定めた「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」(以下「サステナビリティ・リンク・ローン原則等」)に則した「サステナビリティ・リンク・ローン」の融資契約(以下「本件」)を締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手の経営戦略に規定されているサステナビリティ目標と整合した「キー・パフォーマンス・インディケーター(以下「KPI」)」と「サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下「SPT」)」を設定し、貸付条件とSPTに対する借り手のパフォーマンスとを連動させ、SPT達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

オリコは、2022年10月28日付で「オリコ・サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク」(以下「本フレームワーク」)を策定し、同日付で株式会社格付投資情報センター(代表取締役社長:山崎 宏)より、サステナビリティ・リンク・ローン原則等への準拠性および設定したKPIとSPTの適合性についてセカンドオピニオン(※2)を取得しています。なお、本件は本フレームワークに基づくサステナビリティ・リンク・ローンの融資契約です。

当社では、サステナビリティ・リンク・ローンなどのサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGs達成に資するお客さまのさまざまな事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指してまいります。

<オリコについて>

オリコは、長期目線で社会価値と企業価値の両立をめざす「サステナビリティ」を経営の軸として、10年後のめざす社会・めざす姿、その実現に向けた重要課題(マテリアリティ)からバックキャストイングの考え方のもと、2023年3月期を初年度とする中期経営計画を策定しました。各マテリアリティに対しては、具体的なサステナビリティの取り組みと目標(KPI)を設定しています。

マテリアリティのひとつとして「持続可能な地域づくりへの貢献」を掲げており、海外事業では東南アジアにおいて国ごとに最適な金融商品やサービスを提供し、自動車市場の発展をめざしています。

<KPI および SPT の概要>

本件は、以下の KPI と SPT を設定しています。

KPI	SPT	SDGs
東南アジアにおけるオートローンの年間取扱高(新車はEVに限る)	2025年3月期までにKPIを819億円にする	

(※1)ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)

欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60ヶ国以上に属する700以上の機関が加盟しています。

(※2)サステナビリティ・リンク・ローン原則等への準拠性および設定したKPIとSPTの適合性についての

セカンドオピニオン

株式会社格付投資情報センターのウェブサイトをご参照ください。

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

以上